

ストップ結核パートナーシップ日本活動報告(2022年1月～3月)

2021 年会計監査 2022 年 3 月 7 日

2021 年決算理事 2022 年 3 月 24 日

世界結核デー関連

情報提供「新型コロナウイルス感染症の影で脅威を増す結核」(2/9～)(詳細添付)

(議連会長へ共有)

- ✓ NHK「国際報道 2022」
- ✓ BS日テレ「深層ニュース」
- ✓ 厚生労働省記者クラブ 投げ込み
- ✓ 東京都庁 投げ込み
- ✓ Twitter での投稿

「グローバルヘルス戦略」へのパブリックコメント提出 (2/25)

内閣官房 健康・医療戦略室

2023～2030 年までの日本の国際保健に関する政策を規定する政策文書

申し入れ内容 (詳細添付)

- ① SDGs目標達成に貢献するという日本の立場を明確に記して頂くこと、
- ② SDGs3. 3で示される「既存の感染症」への日本政府の立場を明確に示すこと、
- ③ 「既存感染症」への取り組みについて追記頂くこと

- ・ STBJ 有志によるパブリックコメント(議連会長へ共有)を提出
- ・ 国際交流センター(JCIE)、長崎大学熱帯医学研究所が中心にとりまとめた JATA、STBJ 含む 13 団体によるコメントを提出

最終ドラフト(3/22 現在)

主旨については概ね反映された。「既往感染症」へのスタンスとしては G20 宣言や WHO よりも弱い印象。

- ① SDGs目標達成に貢献する=UHCに貢献する日本というスタンス
- ② ③ 「従来の保健課題と新たに顕在化しつつある課題を並行して進める」
(コロナパンデミックによるSDGs目標(既往の感染症等)への対応遅れは、)「パンデックへの備えと UHC 達成に向けた努力と 同時に取り組むべきであり、また同時に取り組むことで、新興感染症の早期発見や 貧困層への保健サービス拡大といった相乗効果を生み出すこと ができる。

コロナによる従来の保健課題へのインパクト、既存の感染症対策や母子保健で育成された人材、システム、供給網がコロナ対応に役立った。UNHLMTBでの日本のリーダーシップは明記された。

3月22日 GII/IDI GH 戦略意見交換会 17:00-18:00 オンライン
内閣官房 健康・医療戦略推進本部 南博大使 出席

STB 関西「～これからの結核対策と新型コロナウイルス感染症対策～」(共催)

主催: ストップ結核パートナーシップ関西

日程: 2022年3月19日(土) 13:00~16:00

形式: Zoomを使ったWeb配信セミナー

I 結核という病気について

結核について一から学んでみよう

専門医が保健師に望むこと

新型コロナウイルス感染症と結核の比較(感染症として相違点等)

II 感染症対策において保健師の果たすべき役割などについて

保健師の活動軌跡(過去果たしてきた役割)

新型感染症発生時の初動における役割(結核対応における経験)

事務職を含む多職種職員との協働作業

新型コロナウイルス感染症が保健師教育を変える

III これからの結核対策について

LTBI 治療完了率 90%以上を目指す手段、短期での完了を推奨する

日本語学校における結核と新型コロナウイルス感染症について

FGFJ グローバル感染症フォーラム「コロナの先に築く未来」(後援)

日時: 2022年3月24日(木)16:00-18:00

会場: 赤坂インターシティ コンファレンス とオンラインによるハイブリット形式

主催: グローバルファンド日本委員会(FGFJ)、(公財)日本国際交流センター(JCIE)

目的: 新型コロナウイルス、エイズ、結核、マラリアなども含めグローバルな感染症問題に関わってきた政
官産学民の関係者が集まり、コロナ禍によって生じた環境や意識の変化を共有し、そこから導き出される
普遍的な価値を議論する。コロナ後の社会のあり方を考えること